

“トイレから見えてくる男女共同参画”

ショールーム見学

トイレ掃除って…

あなたの家ではだれがする？

いずみさの女性センターだより

日本の男女共同参画を

国際社会と比べると…

Fine

(No.34)

いずみさの男女共同参画つうしん

男女共同参画



トイレから
見えてくる

世界でも 秀逸といわれている 日本のトイレ環境

今回の Fine で、「トイレ」に注目したのは、編集会議でのこんな意見から…

「洋式トイレが普及して男性も座ってする人増えてるみたいやけど…」

「トイレの最新事情とそれを利用している人たちの意識の変化？とか、調べてみたいね」というようなことから…

トイレから見えてくる「男女共同参画」と言うテーマで、いったい何が見えてくるのか…

名称の変化と歴史

最近まで一般的だった「便所」と言うのは、元々仏教から来た言葉で、家の中で用を足すことが出来る便利な所と言うことからきたようです。今ではこの「便所」も少なくなり、西洋文化の影響から「トイレ」が一般的に使われていますね。日本での主な呼び名としては「厠(かわや)」「ご不浄」「閑所(かんじょ)」「雪隠(せっちん)」などがあります。人間にとって、必要不可欠なトイレ…昔から様々な人の知恵と工夫が集まった場所でもありました。かの有名な武将「武田信玄」は、物事を考えるのに適している大事な場所と考え、6畳間のトイレを作ったとか…。

匂いを気にしてお香を焚いたり、お風呂を併設して、常に綺麗にしていたようです。1時間以上も入って戦術を練っていたと言う話もあるそうです。さて…こういう様々な歴史を経て、現在のような世界でも秀逸と言われるようになった日本のトイレ事情…

その中から何が見えてくるのでしょうか？